

1年生 2月の様子

▶ふゆにはふゆの たのしいあそびを！

生活科で、季節の移り変わりについて話し合い、今までそれぞれの季節での楽しみ方を見つけてきた子ども達。夏や秋と、冬の違いを考えたり、今まで楽しんできた事を思い出したりしました。「なつはあついから、水あそびをしたっけ。」「シャボン玉たのしかったね。」「あきのどんぐりまつりも、おもしろかったよね。」

お正月はたこあげをするよね、という話題から、冬の風の強さをういたおもちゃを作って遊ぼうということになりました。

「なんか、風車がまわらない。」「たこが空にとばないよ。」「・・・

最初からは、なかなかうまく作れません。友達と知恵を出し合い、風車の羽根の太さや角度、凧の骨の位置等を工夫し、何度も試行錯誤しています。教え合い、伝え合いもまた、大切な学習です。悔しい思いを重ねた末の、うまくできたときの表情の輝きは、ひとしおです。



▼こころのおにを おいだそう

図書の時間に節分のお話をきいた子ども達。「こころの中にある、おい出したい“おに”は、どんなおに？」と尋ねると、出てくる出てくる、色とりどりの鬼達。おこりんぼ鬼、いらいら鬼、テレビ見すぎ鬼、すぐあきらめ鬼・・・小さな一年生の心も、自分なりに色々な課題を感じているものだなあ、と感じました。あんまりたくさんのおにが出てくるので、「一番追い出したい鬼」を決めて、鬼のお面を作りました。

学級活動の時間に、当たっても痛くない新聞紙のお豆をたくさん作って、鬼の役をしてくれる人を募り、楽しい豆まき大会をしました。担任だけに鬼役を任せず、子鬼役を引き受けてくれた人、どうもありがとう！豆を投げる子も逃げる子も、なんだか全員とても楽しそうな豆まきでした。

